

令和3年度 第2回八千代市観光振興懇談会 会議録

- 1 会議名 令和3年度第2回八千代市観光振興懇談会
- 2 日時 令和3年10月22日（金）14時30分～15時55分
- 3 場所 八千代市役所 旧館4階 第1委員会室
- 4 議題 (1) （仮称）八千代市観光振興計画の策定について
(2) 計画の構成と主要施策について
- 5 出席者 **【委員】**
八千代商工会議所まち興し委員会委員長 太田 博
八千代商工会議所中小企業相談所所長 高橋 英治
八千代市農業協同組合総務部長 斉藤 等
八千代市農業協同組合青年部長 植草 圭一郎
株式会社JTB千葉西支店長 瀧上 富雄
一般社団法人八千代市観光協会会長 杉山 智基
京成バラ園芸株式会社ガーデン部部长 渡邊 智裕
秀明大学観光ビジネス学部長・教授 市川 友英
秀明大学観光ビジネス学部教授 木村 義彦
市 民 委 員 岡本 憲始
市 民 委 員 三ツ汐 未奈

【事務局】
経 済 環 境 部 長 大澤 利和
商工観光課観光推進室長 春田 泰宏
観 光 推 進 室 主 査 齋藤 岳洋
観 光 推 進 室 主 任 主 事 富田 俊一郎
観 光 推 進 室 主 事 長谷川 恵梨
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人（定員3人）

開 会

事務局（富田）

定刻となりましたので、令和3年度第2回八千代市観光振興懇談会を開会いたします。

本日、進行を務めさせていただきます観光推進室の富田と申します。よろしくお願いいたします。

会議に先立ち、会議資料等の確認をお願いします。

本日の配布資料としまして、「懇談会次第」、「席次表」、「委員名簿」、クリップ留めの「資料一覧」となります。

また、事前送付資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたらお声がけください。資料等につきましては、大丈夫でしょうか。

続きまして、本日は、初めて委員になられた方もいらっしゃいますので、本懇談会について簡単にですが、ご説明をさせていただきます。

事前資料1をお開きください。

八千代市観光振興懇談会設置要領第2条の第1号から第4号で本懇談会において、意見交換する事項が定められておりますので、読み上げさせていただきます。

- (1)観光資源の発掘に関すること。
- (2)本市の観光の基本的方針に関すること。
- (3)本市の観光事業の実施及び検証に関すること。
- (4)その他本市の観光に関し必要な事項

と規定されております。このことから、本懇談会では審議の場としてではなく、意見交換の場として、本市の観光振興を図るための参考とさせていただきます。

なお、令和3年度につきましては、本日と来年1月の懇談会を予定しております。計画策定に向けた意見交換が主となります。

また、本会議は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」に基づき、公開の会議となっており、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承ください。

そのため、個人情報に関わる事項や、特定の企業・団体に利益・不利益となる発言につきましては、ご留意いただきますようお願いいたします。

事務局（長谷川）

続きまして、発言の際のマイクの操作についてご説明いたします。

皆様の机の前に置いてあります、マイクが「議事録作成支援システム」となっております。こちらを使用して、議事録を作成します。手前のシルバーのところスイッチになっておりますので、発言をする際は、こちらを押してください。スイッチを押すと、赤く光りますので、それから発言をお願いいたします。話し終わりましたら、再度ボタンを押す必要はありません。次の発言者の方がボタンを押すと、

前にお話した方のマイクの赤い光は消え、次の方に発言が移りますので、よろしくお願ひします。

なお、会議中の発言につきましては、座ったままでのご発言で構いません。また、事務局説明等についても座ったままで進めさせていただきます。

また、コロナ禍での開催にあたり、何点かお願ひがござひます。

会場内では、マスクの着用をお願ひします。お話しする際も、マスクを顎にずらさないようお願ひします。

会場内の換気は十分に行いますが、体調が悪くなった場合は、事務局までお申し出ください。ご理解・ご協力をお願ひいたします。

事務局（富田）

それでは、本日の会議は、設置要領第6条第3項の規定に基づき、全員ご出席いただひており、委員の過半数の出席を満たしておひますので、会議として成立しておひます。

また、会議の進行につきましては、次第に則り進めさせていただきます。

続ひまして、懇談会開催にあたり、経済環境部長の大澤よりご挨拶を申し上げます。

事務局（大澤部長）

改めまして経済環境部長の大澤でござひます。

本日は、ご多忙のところ、八千代市観光振興懇談会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

会議に先立ちまして一言ご挨拶申し上げます。

本日の会議では、会長並びに副会長の選出、議題としては、「(仮称)八千代市観光振興計画の策定について」と、「計画の構成案と主要施策について」となっておりますので、委員の皆様から幅広いご意見をいただければ幸いと存じます。

また、今後の懇談会におきましても、本市の魅力発信のためにも、観光振興の充実を図っていくうえで、委員の皆様の忌憚のないご意見を賜りたくお願ひ申し上げまして、簡単ではござひますが、挨拶にかえさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

事務局（富田）

ありがとうございます。

続ひまして、事務局の紹介をいたします。

先ほどご挨拶させていただいた経済環境部長の大澤です。

商工観光課 観光推進室長の春田です。

観光推進室の齋藤です。

観光推進室の長谷川です。

そして、私、観光推進室の富田です。よろしくお願いいたします。

続きまして、「会長及び副会長の選出」に移ります。設置要領第5条の規定におきまして、会長及び副会長は、委員の互選により定める、と規定しております。また、同第6条の規定で、本来、懇談会は会長が招集し、会長が会議の議長を務めると定めておりますことから、委員の皆様のご意見を頂戴したいと思います。

皆様いかがでしょうか。

高橋委員

はい。

事務局（富田）

高橋委員お願いします。

高橋委員

商工会議所の高橋でございます。私の方からは、引き続き、地元の大学の教授でいらっしゃる市川委員に会長を推薦したいと思いますのですが、いかがでしょうか。

よろしくお願いいたします。

委員全員

異議なし

事務局（富田）

異議がないようですので、市川委員に会長をお願いしたいと思いますのですが、市川委員はお引き受けいただけるということで大丈夫でしょうか。

市川委員

ありがとうございます。僭越ではございますけれども引き続き、この重責を果たしていきたいと思っております。

事務局（富田）

ありがとうございます。では続いて、副会長の選出になりますが、委員の皆様ご意見はございますか。

市川会長

はい。

事務局（富田）

会長お願いします。

市川会長

副会長につきましても、引き続き太田委員を推薦したいと思います。

委員全員

異議なし

事務局（富田）

異議がないようですので太田委員に副会長をお願いしたいと思います。

それでは市川会長には議長席に移動していただきます。

また、また渡邊委員につきましても、お手数をおかけしますが、市川会長が座っていた席にご移動お願いいたします。

そうしましたら、市川会長続いて、太田副会長にご挨拶をお願いしたいと思います。市川会長お願いします。

市川会長

会長にご指名いただきました秀明大学の市川でございます。

委員の皆様のご協力を賜りまして、スムーズな議事進行に努めたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局（富田）

ありがとうございます。続きまして、太田副会長ご挨拶をお願いします。

太田副会長

ご指名いただきありがとうございます。会長の足を引っ張らないように、協力したいと思います。よろしくお願いします。

事務局（富田）

ありがとうございます。それでは、このあとの議事進行につきまして、設置要領の第6条の規定に基づき、市川会長をお願いいたします。

それでは市川会長よろしくをお願いいたします。

市川会長

それでは早速でございますけれども、議題に入りたいと思います。

着席にて恐れ入りますが、進行をさせていただきます。よろしく願いいたします。

本日は2つの議題を賜っております。早速でございますけれども、「議題1（仮称）八千代市観光振興計画の策定について」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局（長谷川）

まず初めに、「議題1（仮称）八千代市観光振興計画の策定」につきまして、初めに取り組み状況等の経過説明を、座ったままでご説明させていただきます。

現在、観光分野におきましては、国や千葉県において観光を推進するための計画が策定されるなど、観光を取り巻く状況が変化してきております。

本市におきましても、本市観光の現状と課題を踏まえ、市における観光振興を図るために基本方針と計画を策定することといたしました。

これまでの取り組みとしましては、本市の観光の基礎資料を収集するための「観光資源調査」や、「観光に関する組織・団体及び観光事業者への調査」、「市民等へのアンケート」、マーケティング調査として「観光モニターツアー」を実施するとともに、今後の観光の方向性や目指すべき将来像について幅広く意見聴取するため、懇談会の委員の皆様からご意見を伺いながら、観光協会などの観光関連団体の方や市の若手職員を集めてワークショップを開催し、多方面からの意見を参考に、八千代市観光振興の基本方針を定め、令和4年度から令和6年度の3か年の計画案の策定を進めているところであります。

なお、基本方針につきましては、事前資料2でお示している案を11月18日に開催される八千代市産業振興審議会に上程する予定となっております。

以上で、計画策定に向けた取り組み状況の説明となります。

市川会長

はい。ありがとうございました。事務局から説明がありましたけれども、この計画に私の方も関わっていることから、これまでの取り組み状況の補足を少し述べたいと思います。もともとですね、この計画は、昨年度に策定する予定でございました。

しかしながら、皆様ご存知のように、コロナが蔓延した中で、会議の開催や、ワークショップの開催などが、非常に困難になりまして、また過去に例のない事態が起こったということもありまして、不透明な状況の中、拙速にこの計画を進めているものか、2年にわたり、運営とそして環境をしっかりと捉えた中で策定という状況になりました。

先ほども事務局から説明がありましたけれども、まずは現状の調査分析、そして、それによつての課題の抽出、そして、ワークショップの開催に伴う方針の確定、ここまでが順調に今のところ推移しております。ここまでは、確定事項という

ことで、過去にこの会議でその部分についてご賛同いただいた委員の方もいらっしゃると思いますけれど、ご理解いただけますようお願いいたします。

今後は具体的な施策について、本日皆様からご意見をいただきまして、内容を固めていくことになろうかと思えます。

特にこの終盤に差しかかったタイミングで、新たに委員になられた方が多くいらっしゃると思いますが、大変恐縮でございますけれども、方針までは一定程度作成したことを前提に忌憚ないご意見を頂戴できれば、大変嬉しく思います。

私の方から補足は以上でございます。

それでは、これまでの経過につきまして、事務局からの説明、或いは私の補足説明をさせていただきましたが、特に初めて出席される方などは、確認事項や、この趣旨につきましてのご理解はよろしいでしょうか。

それでは引き続き、事務局説明をお願いしたいと思えます。

事務局（長谷川）

続きまして、計画策定に向けた今後のスケジュール等について、ご説明いたします。

事前資料3「(仮称)八千代市観光振興計画策定スケジュール予定」をご覧ください。こちらの表は、今年度の大まかな予定をまとめてあります。

今後、計画の策定にあたりましては、2月に行われます第3回産業振興審議会で諮問・答申を経て計画の策定を予定しております。

それまでの流れといたしましては、本懇談会で計画案のご意見をいただき、11月開催予定の第2回産業振興審議会で諮った後、パブリックコメントによって広く市民からの意見を募集し、いただいたご意見等を検討したうえで、市としての最終案として1月の第3回観光振興懇談会にて、委員の皆様からご意見を伺うことを予定しております。

事務局からの説明は以上となります。

市川会長

はい、ありがとうございました。事務局より、今後の流れ、スケジュールについて報告がありましたけれども、皆様ご理解いただけましたでしょうか。或いは質問やご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。

岡本委員どうぞ。

岡本委員

市民委員の岡本です。事前資料3のスケジュール予定について質問ですが、産業振興審議会の方で、11月に第2回審議会、第3回が2月とあるのですが、それぞれどういった内容をご審議されて観光のことを決めていくのですか。

あと、この間で、市民からの声、パブリックコメントをされるということですが、多分パブリックコメントの際に、どういった点で、という構想案もできあがっていれば、その辺のことを触れていただけたらと思います。

すごく資料もわかりやすく、読みやすく作っていただいているので、非常にすつと腹落ちはするのですが、おそらくポイントとしては、これを市民の方がどれだけ観光事業に対して、八千代市が実践して目指しているか、が見えることが最大の目的、課題だと思っていて、あとは、この方針にある交流人口をどう増やすかで、産業振興につなげていくことがポイントになると思うので、その辺とどういう関わり合いがあるのか、スケジュール面から教えていただけると助かります。

ただ、可能な範囲で、決まってないようであれば結構です。

私の方は以上です。

市川会長

はい。貴重なご意見ありがとうございました。事務局の方いかがでしょうか。

事務局（齋藤）

はい。まず、審議会ですが、11月の審議会で当計画の素案と、その前に基本方針について意見を伺う予定です。素案については、今の段階でまだ出来上がっていないのですが、これから議題2で説明させていただければと考えていました。計画の構成、基本方針、主要施策を説明させていただきまして、皆様からご意見いただいた後に、事務局の方で取りまとめまして、計画の素案を作り、次の審議会で意見を聞いて、パブリックコメントという流れになります。

パブリックコメントが終わった後に最終案を取りまとめ、審議会の方に諮問答申を行い、最終というような流れを予定しております。

市川会長

この点いかがでしょうか。

岡本委員

はい。ありがとうございます。骨格の部分は非常によくわかりました。

ちょっとお伺いしたいのですが、私も不慣れなところがあって、決めるという範囲は、どの程度の具体的なものを決められるのですか。

計画の案というのは、今こちらに資料でいただいているものがあくまでもベースになって、今はまだ案なのでこれを確定させる、というイメージで合っていますか。

事務局（齋藤）

はい。11月の審議会では、例えばこれは市の他の計画なのですけれども（他課の計画冊子を掲げて見せる）、計画案を冊子の形にして、審議会にかけて、承認をいただきましたら、そのままパブリックコメントの方にかけるという流れを予定しております。

岡本委員

はい、わかりました。ありがとうございます。

市川会長

私の方から、補足をいたしますけれども多分50ページ程度の冊子となって、一旦その案の冊子を審議会にかけるというようなイメージになるのではないかなと思います。

岡本委員

はい。ありがとうございます。

市川会長

はい。その他にございますか。質問、意見等ございますか。よろしいでしょうか。それでは事務局より「議題2 計画の構成案と主要施策について」の説明をお願いいたします。

事務局（齋藤）

はい、「議題2 計画の構成と主要施策について」、座って説明をさせていただきます。

資料1「(仮称)八千代市観光振興計画の構成」をご覧ください。

本計画の構成につきましては、策定の趣旨や現状と課題、今後の方向性や取り組みなどにより構成され、先ほど、議題1で触れました「八千代市観光振興基本方針」に基づいた計画となっています。

それでは計画となる各章ごとに説明をさせていただきますが、6章の「各基本方針の主要施策と展開例」については、計画の要点となる部分になりますので、後ほど配布資料2で説明をさせていただきます。

まず1章では、「観光振興計画策定の趣旨」について、市の総合計画の個別計画に位置付けられることや、計画の期間について記載いたします。

2章では、国や県の動向など、「八千代市を取り囲む観光の外部環境について」を記載いたします。

3章では、「八千代市の観光の現状と課題について」、京成バラ園さんや道の駅の観光入込客数など、公表されているデータなどを記載する予定です。

4章では、「八千代市の観光のビジョンとキャッチコピー」について記載いたします。

5章では、「八千代市の観光の基本方針と現状や背景、課題」について記載いたします。

6章の「各基本方針の主要施策と事業展開例」は、次の配布資料2でご説明いたします。

7章では、計画の推進体制や推進スケジュール等について記載いたします。

そして今まで行った各種調査等をまとめたものを巻末資料とする予定です。

4章の「八千代市の観光のビジョンとキャッチコピー」は、これまでの懇談会やワークショップにおいてご意見をいただき、八千代市の観光としては、「桜とバラ」を中心に、さらにPRしていこうということで、事務局で取りまとめております。

あちらのホワイトボードに記載しているものになりますが、こちらにつきましても、後ほど皆様からご意見を頂戴いただければと考えております。

次に資料2「八千代市観光振興基本方針の主要施策」をご覧ください。

6つの基本方針の柱をもとに、それぞれの主要施策と事業展開例を記載する予定です。

八千代市の観光は黎明期であり、予算や人員も限られておりますので、星印がついている8つの主要施策から、今後3年間、リーディングプロジェクトとして、重点的に取り組んでいきたいと考えております。

また、新規事業については、予算や法的に難しい事業もあると思いますので、まずは計画の中で、調査・研究を行い、実施の可否を判断しなければならない事業も考えられます。

まず基本方針（1）「主要観光資源の交流人口の創出」の主要施策は、①が「京成バラ園の交流人口の増加策の推進」、②が「道の駅やちよの交流人口の増加策の推進」になります。

次に、2ページの基本方針（2）「観光資源の魅力発信の充実とブランド化」の主要施策は、①が「八千代市の観光ブランドイメージの醸成」、②が「ココシルやちよの市民への認知度の推進」、③が「近隣自治体の方々への様々なプロモーションの推進」、④が「観光客のリピーター化への具体的な手法の構築」、3ページの⑤が「観光推進を図る観光協会とのさらなる協力・連携の強化」になります。

次に、4ページの基本方針（3）「新たな観光資源の発掘」の主要施策は、①が「既存の観光資源の高付加価値化やブラッシュアップ」、②が「オンリーワン・NO1等誘客に結びつくキーワードを伴う観光資源の発掘」になります。

次に5ページの基本方針（4）「自然環境を利活用した観光の推進」の主要施策は、①が「グリーンツーリズムコンテンツの推進」、②が「自然を利活用した多種多

様なアクティビティへの取り組みの推進」, ③は「SDGsの取り組みを意識した観光政策の推進」になります。

次に6ページの基本方針(5)「近隣自治体との地域間連携」の主要施策は, ①が「季節や親和性に富む近隣自治体観光資源とのコラボレーション」, ②が「バラを軸とした観光振興への推進」, ③が「印旛沼流域自治体との観光振興の推進」になります。

次に7ページの基本方針(6)「観光によるシビックプライドの醸成」の主要施策は, ①が「三大祭を中心とした市民参加の観光の推進」, ②が「八千代市民の主要観光資源へのリピーター化」, ③が「子どもたちに対する八千代市観光への関心の醸成」になります。

事業展開例は, 各主要施策に列挙していますが, 1ページの基本方針(1)①「京成バラ園の交流人口の増加策の推進」のみ取り上げて説明をさせていただきます。

①の2つ目の事業展開例で, 「観光協会・商工会議所等と連携し, 年間を通じた情報発信の強化」について, 今までは春と秋のフェスティバルの周知が中心でしたが, 年間を通して情報発信を行うことや, バラ園に来園された方に, 近隣のお店やJAの直売所, 道の駅にも足を運んでもらえるよう, 併せてPRすることで, 地域経済の活性化を図っていきたいというものです。

事務局からの説明は以上となります。

市川会長

はい, ありがとうございます。事務局から説明がありましたが, 少し私の方から噛み砕いて補足したいと思います。

まず計画について, 1章から7章までの構成になっておりますが, 観光計画の策定におきましては, その街の観光に対する進捗度とか, 或いは成熟度, そういったものが基本的な大事な観点になります。

皆様もいろいろと耳にされたことはあると思うのですが, 物事或いは商品には, プロダクトライフサイクルというものがあります。

初期, 黎明期から始まりまして, そして成長期, そして安定期, 或いは, そのあと衰退期ですね。衰退期にならないように, またそこで何らかの惹起をして, 新たな成長曲線, 或いは安定化に持っていくというのが通常のプロダクトライフサイクルと思います。

八千代市におきましては先ほどから説明がありましたように, まだ観光については, 初期, 黎明期だというような位置付けで考えております。なので, 基本的には非常にオーソドックスな計画の構成となっております。

構成は、まずは内部環境と、外部環境の把握で、これが大前提になります。そのために、調査等々で現状の分析をしてきたということです。そしてそれによって、課題があぶり出されて、課題の抽出をさせていただきました。

その課題を解決するために、方針の設定という形になります。今回6つございませうけれども、大体私も過去の色々な経験上、大体5つから7つの間ぐらいですね。あまり多くの方針があっても、ベクトルがはっきりせず、うまくいきませんし、かといって少ないものであってもなかなか広がりがないということで、他の市町村を見ても、大体5つから7つぐらいの構成が適切ではないかなと思っております。

そしてその具体的な打ち手、大きな流れの中で計画の構成をしているということです。ですから、今日この最後の主要施策と事業展開例のところで、皆様からご意見を頂戴して、そして完成の手前までいくというような形でございます。

併せて、今お話をした主要施策につきましても、少し補足をしたいと思っております。事務局の方から説明がありましたので皆様も何となく、どこまで把握しているものやらという状況かもしれないけれども、通常、施策につきましても、方針ごとに大体2つから4つ程度ということに収斂していかなければ、これもなかなか方向性が定まりにくいということもあります。

ただ、事務局から説明がございましたように、マンパワー或いは予算の優先順位、プライオリティ、或いは物理的な取り組む時間、そういったものを考慮しながら、黎明期の八千代市において、全部パーフェクトにやっていくということはなかなか難しいのではないかなと思っておりますので、ここに星印のリーディングプロジェクト、これを中心に進めていくということになっていく形です。

事業展開例は、実はワークショップの第3回目で、様々な意見を頂戴いたしました。それにつきましてはすべて事務局の方で保管をして、進捗状況によっては、ここに書いてあるもの以外でも、実施することもあるかもしれませんが、すべて一旦皆様の意見を取り上げているというような状況でございます。

私の方からは今、計画の骨子についてと、施策についての考え方を、一定程度補足させていただきました。

併せて、ちょっとこちらをご覧ください。(ホワイトボードに書いてあるビジョンとキャッチコピーについて指す。)

ビジョンとキャッチコピーということで書いてありますが、これについても少し触れたいと思っております。

まずビジョン、つまり、将来どんな姿に八千代市の観光をしたいかということですね。読み上げますと、「おいでよ バラの香りと桜色の街 八千代」。そこにサブタイトルとして、「-花の観光都市-都心から気軽に訪れ 自然にふれあえる 身近な観光都市を目指します」。これがビジョンになります。

ビジョンや将来像を考える際に、ポイントは2つあります。

1つは、まず今の強みをしっかりと把握して、そして一番顕在化している物に光を当てるということ。今回、バラと桜、この2つに焦点を当てているという形になります。

もう1つのポイントは、将来できるだろう、或いは可能性・ポテンシャルのあるもの、これに光を当てていく。つまり、顕在化しているものと、潜在化しているもの、この両方に光を当てて将来の姿を炙り出すというのが、ビジョンの1つの考え方になります。

そういった点では、バラと桜を中心にして、将来はこの2つの花だけではなく、例えば、9月に咲く彼岸花ですとか、そういったものを混ぜ込みながら、花の観光都市のイメージを目指して観光を推進していく。このビジョンは、ワークショップと、事務局の方で勘案をして、こんなふうにならなっています。

併せてキャッチコピーの方ですけれども、キャッチコピーを考える時に、これもポイントは3つほどあります。

1つは、当然これは市民の方に色々な場面で見てもらいますので、例えばポスターに出る、ホームページに出る、或いはチラシに出るということになりますので、老若男女を問わず、市民全体へメッセージが伝わって、市民の皆様にご好評がいく、腹落ちがする、「なるほど、こういうことを目指しているのですね」とわかりやすいことが一番重要なポイントです。キャッチコピーがわかりやすいかどうかですね。

2つ目は、先ほどビジョンがありましたので、当然のことながら、ビジョンと寄り添う形で、ビジョンからあまり離れては、大きなベクトルがうまく定まりません。このビジョンと寄り添う形で作らなければいけない、ということが2つ目です。

そして3つ目は、ブランドを作るためにも、これは目玉、これで勝負するというものを、真ん中に据えるということ。これをはっきりと落とし込むということが、とても重要だと思っています。

キャッチコピーは「バラ香り 千の桜が彩る街 八千代」としており、バラという花と新川の千本桜、この2つを軸としています。そしてキャッチコピーの場合は、長々と言っても仕方ありません。大体13文字から20文字というのが通常です。今回のこれでいくと14文字ですから、このように端的に伝わるような、キャッチコピーを事務局とワークショップで考えておりますので、皆様にご説明させていただきました。

ということで事務局からの説明と、私の方の補足という形で述べさせていただきましたけれども、皆様の方からご意見を賜りたいというふうに思います。瀧上委員いかがでしょうか。

瀧上委員

今のご意見には非常に共感しまして、バラ、そして桜というのは、ワークショップでも出た、非常に重要なキーワードであるということと、今、やはり若い方には「映え」というのが非常に浸透していて、やはり写真映りがいいところに、人が流れていくというところでは、非常にキャッチーなコピーだと思います。

また京成バラ園さんでは、11月23日にコスプレもあって、コスプレというのは、皆様、もしかしたらご存知ないかもしれませんが、世界でも非常に注目されているということで、将来的にこのイベントが盛り上がりければ、インバウンドで海外にもアピールし、八千代の魅力を世界に発信するということもできると思っていますので、非常に期待しております。

市川会長

はい。ありがとうございました。杉山委員いかがでしょうか。

杉山委員

はい。ビジョンとキャッチコピーについては、私も昨年度からずっと携わらせていただいて、良いところに落ち着いたなというふうに思っております。以上です。

市川会長

ありがとうございました。岡本委員どうぞ。

岡本委員

すみません。作られた構成が今までのものと違ってわかりやすく、非常に腹落ちすると市川委員も言っていたのと、ビジョンとキャッチコピーに何を戦略にするかを皆様に伝えるというところが、わかりやすいので非常にいいなと思いました。私が気になっている点を申し上げたいなと思っております。構成がわかりやすいので、突っ込みもしやすいという話になっちゃうと思うのです。

先ほど市川委員の方から、黎明期、そして基本的に戦略がスタンダードだというお話をいただいていたのですが、私はそれに、「誰に」というマーケティング戦略をしっかりとやっていく必要があるのではないかなと思っております。

それはなぜかという、今偶然、自分も業界で働いているので、どこの市町村も観光に対して力、予算を取っているところは、ものすごい勢いでコロナ明けに関わっています。

八千代市は20万人の人口がいて、まず私たちは八千代市に目を向けるべきなんじゃないかというところで、市民に対する情宣、市民に対する観光意識の向上というのが必要なんじゃないかなと、ちょっと強めてみてもいいのではないかなというのが、まず第1の意見です。骨格の部分です。

2つ目といたしましては、構成がピラミッド型でわかりやすく、リーディングプロジェクトが、基本方針1, 2, 3, 4, 5, 6にリーディングプロジェクトがそれぞれ2個前後ぶら下がっているという、非常にわかりやすい構造になっていて、わかりやすくなっているからこそ、リーディングプロジェクトの中で、その取り組み内容が若干抽象的になっている項目、具体的に言うと、例えば資料2の3ページ目にあります「観光推進を図る観光協会とのさらなる協力・連携の強化」で、事業展開例まで来ると、なるべく具体的にある程度見える形で落とし込んでおかないと、ちょっと突っ込みどころ満載になってしまうのではないかと考えています。

せっかくこのメンバーにもいらっしゃいますし、意識の高い方なので、こういうことをやってみるっていうアウトラインはある程度書いていただいた方が、いいのではないかなと思っていました。

そういう意味で言うと、せっかく観光協会の方がいらっしゃるので、2ページの基本方針2の⑤と、4ページは非常に見やすくなっているのですが、5ページの②の「自然環境を活用した多種多様なアクティビティへの取り組みの推進」ですが、農協さん含め都市近郊農家として非常に豊かで農作物もあるので、その部分を、農協の方が今日2人いらっしゃっているので、ある程度方向性のビジョンを持った形で作り上げられたら、千葉県の中でも、他市と違う八千代市なりのアピールができるのではないかなと思いました。

そういったところが申し上げたいところでした。

だから、すごく嬉しかったのは、基本方針(6)の①「三大祭を中心とした市民参加の観光の推進」とあるので、懇談会のメンバーに太田さんもいらっしゃるように、ちゃんと取り上げて、皆様が前に向けるような内容になっていると思いました。

すごく量が多くて、リーディングプロジェクトが多いような感じが私はしていて、もしそれでも具体的にならないのであれば、もう1回骨子からスタンダードに戻して、もう少し大局を見ていただいてもいいのではないかなと感じました。

ユニバーサルな視点、せっかくSDGsというキーワードを入れていただいたので、八千代市は他市と比べて、つまり山の方の土地と比べてフラットな地形も多く、車で移動して、車椅子の方や子どもたちもいることからすると、いわゆる車椅子だとか乳母車だとか、そういった方にもやさしいユニバーサルなツーリズム、観光展開要素というものを何か考え方の中で1つ入れていただきたいなと考えています。

当然そういったトイレの整備だとか、あとは、新川は急な川ではないので、新川沿いの遊歩道を、桑納川など色々な川がありますけど全部遊歩道がフラットです。そういった中で、新川は自転車が多くて、幅が狭いので、ちょっと厳しいですねと話をしたことがあるのですが、そういった他市にも比較して有利なところは、せ

っかくユニバーサル，オリパラ含めて，他市が取り上げてない視点からいくと，そこを掘り下げても都心から近いという観点からいいかなと私は思いました。

繰り返すと，構成がすごく明確なので，理論的に甘い部分に関しては，あえてリーディングプロジェクトにしなくてもいいのではないかという部分があります。

やはり市民に向けた観光醸成，あとは，もしできるのであれば，せっかくこんなに良いものなので，トータルの考え方のビジョンで言うと，SDGsもあるならば，ユニバーサルもあっていいのではないかというところを，意見として入れさせていただきました。

すみません勝手なことばかりで申し訳ないですが，せっかくいいものなので，確認していただければと思います。以上です。

市川会長

はい。貴重なご意見ありがとうございます。私の方から少しお話させていただきたいと思います。

まずご指摘のあった「誰に」というところですがけれども，実は基本方針にしっかりと入れ込ませていただいております。基本的には日帰り観光ですので，この近接した周辺人口が200万人ぐらいおりますので，その人たちに焦点を当てて，来ていただく，リピーター化していただくと，ご指摘の市民20万人については，基本方針6のところ，市民のシビックプライドの醸成のためにも，観光にどんどん関わって，そして市民の方に何回も来ていただくような，そんなことを構築していくということで，一定程度は触れているのかなというふうに思っています。

それと観光協会さんとの話につきましては，当然書いておりますので，私の方でどうのこうのということはありませんけれども，やはりこれからではないかなというふうに思います。ただ，まだ予算化が難しいとか，そういった内部事情もあるようなので，その辺を含めて，今後も観光推進室と観光協会と協力しながら頑張っていくという表現に落ちてしまったというのが現状です。ご理解いただきたいというふうに思います。

それに伴ってリーディングプロジェクトの削減みたいな話もありましたけれども，一応，旗を出した方がいいかなというところもありまして，そんな形で決めさせていただきます。

それと非常に建設的なご意見のユニバーサルデザインにつきましては，おっしゃる通りだと思います。ただ，私も過去に，そういったバリアフリーツアーなど随分やってきましたが，全くそういったことがされていない施設もございます。その場合には，やはりバリアフリーとかユニバーサルのことを，少し声高に旗を上げて惹起していく，そういう警鐘を鳴らしていくということが必要だと思うのですが，一応調べたところ，どちらの施設も車椅子とか乳母車が入るようなところは一定程度であったので，今回そこにまだ至っていないと。

ただ、貴重なご意見として取り上げてですね、事務局の方で保管して、またこれにつきましても、少し検討していく余地はあるのかなと思いました。

私もすみません、個人的な感想も含めて、一旦コメントさせていただきました。その他に、皆様の方からご意見ございますか。

後ほど、渡邊委員の方からは今の秋バラの状況につきましてご意見を頂戴したいと思いますが、木村委員いかがでしょうか。

木村委員

京成バラ園について浸透してきたという感じもあるのですが、最近、近所の方とバラ園について話題になりました。その時に、「谷津にあるバラ園」と言っていて、私も確かに谷津にもあったのかと思いましたが、「京成バラ園」と言ったら、「どこにあるんですか」という感じになりまして、「京成バラ園」というと、京成のどの辺なのかが分からない感じでしたので、「八千代のバラ園」だということが前面に出ていた方が、わかりやすいし前進するのではないかなという感じを受けました。ちょっともったいないかなと。

市川会長

はい。ありがとうございます。そういったことも含め、このキャッチコピーに「バラと桜のまち八千代」というような形で、露出し広報していくという意図も込められていると思っています。

ありがとうございます。他にございますか。よろしいでしょうか。

議題については以上となりますが、ここからは次第6「その他」に入ります。事務局より連絡事項をお願いいたします。

事務局（長谷川）

次第6「その他」について、こちらからご説明いたします。

まず1つ目に、三大祭について、現状の報告をいたします。

八千代市では、例年開催されている、4月の源右衛門祭、8月の八千代ふるさと親子祭、10月の八千代どんと祭を総称して、本市の三大祭としております。

今年度につきましては、8月の八千代ふるさと親子祭が、コロナ禍の影響や東京オリンピック・パラリンピックの期間と重なったことにより、三大祭を「八千代市民祭2021」として、10月30日、31日に合同開催することを目指して準備をしておりましたが、10月31日に、第49回衆議院選挙の投開票が行われること、新型コロナウイルスの影響を考慮し、年度内の開催を検討することで、延期が決まりました。

今後につきましては、実行委員会と市で開催内容や日程等を協議し、決まり次第、市民の皆様に周知して参ります。

続きまして、本日お配りしているチラシについてご説明いたします。

今回3種類のチラシを配布しております。

まず1つ目の細長いパンフレットについてご説明いたします。

「八千代市の観光ガイドアプリ ココシルやちよ」のパンフレットになります。こちらについては八千代市で運用している観光ガイドアプリのご案内となっておりますので、よろしければダウンロードしてご使用いただければと思います。

2枚目のチラシについてご説明いたします。

「京成バラ園のオータムローズガーデンパーティー」のチラシとなっております。現在開催中のイベントとなっております。市で後援しているイベントのため、広報や観光ガイドアプリココシルやちよにて周知をしております。

3つ目のチラシについてご説明いたします。

「ART×CAFE 八千代まちなか 珈琲の香るアートラリー」のチラシです。こちらも、現在開催中のイベントとなっております。市内のアーティストと喫茶店がコラボし、ユニークなアートギャラリーを楽しめるイベントとなっております。

チラシについては、以上になります。

市川会長

はい、ありがとうございます。三大祭につきましては、残念ながらという形ですけれども、太田委員何かご感想とかございますか。

太田委員

市民祭は延期ということですが、青年会議所と商工会議所青年部で中央図書館の裏で10月31日にイベントをやるということで、私どもも要請を受けまして、500食くらいですが鍋をやりますので、ぜひ。

全体的に、例えば市民祭も大変だからと言うけど、でも若者が「やっぱり何かやろう」と言っているの、そういうものには、年寄りの私でも手伝おうかなという気持ちになりました。

だから街の中でも、例えば八千代カレーですとか、ココシルを見ていると、色々なものが出ています。こういう「新しいものをどんどんやろう」という若者を奮い立たせて、それを下から支える力をつけていく。

例えば八千代カレーもイベントでやると、ご飯とカレーが一緒では駄目だという話になってしまいますが、そんなところを解決してあげられるような力を作ってあげないと。例えば、私も商工会議所のまち興し委員会を20年近く前に当時の会長からお願いされて、鍋を作って源右衛門祭を始めた。そしたら、私の代が終わってからもいいと思っていたのに、ありがたいことに、もう三大祭にさせていただいた。そういう何か努力をしていくことも大事だと思うので、色々なところから湧き

上がってきたものに対して、皆様ぜひ応援してあげていただきたいな、という私は思います。

市川会長

はい、ありがとうございました。高橋委員、何か補足とかございますか。

高橋委員

はい。そうですね。イベントなどは、子どもたちが夏休みの思い出とかで、花火大会の絵を書いてくれて、これは大人にしかできないことだと思います。私もおじさんなので、若い方と一緒にになって財産をつくれるようなものを発信できればな、と思います。

市川会長

はい、ありがとうございました。渡邊委員すみません。オータムローズガーデンパーティーというチラシがありますけれども、何かお話があればよろしく願いたします。

渡邊委員

お手元に、こちらのチラシが配布されているかと思いますが、足元の状況を皆様にお伝えさせていただきます。

実は、昨秋、過去一番の入園数を記録しています。理由としては、まず第1に、観光資源である以上、やはりどうしても天候に左右されてしまいます。屋内のミュージメントパークというわけでもありませんので、そういった意味でいきますと、昨年度は台風が来なかった、その前年が多くあったのですが。そして、今年の秋も、どうしても天候に左右されてしまう部分で、なかなか難しい部分もあるのですが、追い越せという形で今頑張っております。

足元の数字でいきますと、開催期間が10月8日から11月23日になっていますが、一昨日（10月20日）の時点で約4000人強が来ております。昨年の秋と比較しても、対前年度比で大きく上回っているという状況でございます。

あと1つ、目玉としては、今回は期間を、前倒し・後ろ倒しをして期間を引っ張っています。バラの花でそんなことできるのかと疑問に思われる方もいると思いますが、バラは不思議な花で、剪定によって開花調整をできるというところがあるみたいです。プロのスタッフが切っていますので、11月23日までは咲かせ続けるという予定で動いております。

当然ながら、期間が延びれば、八千代の方に来られる方も増えるというふうに踏んでおります。

今回かなりイベントが盛りだくさんになっておりまして、一番お伝えしたい目玉でいきますと、チラシ裏面の「ガーデンパーティー リザーブド・ローズテーブル」ですが、銀座千疋屋さんとタイアップして、タルトを用意させていただいております。予約制で大体80から100個をご用意しています。ちなみに、今週の土曜日、日曜日は、もうご予約満席状態です。

ここでバラとアートとアリスのお茶会ということで、初めての試みとしまして、不思議の国のアリス、これがもう著作権が切れている関係で、庭園と非常に相性がよからうということで、庭園の中あちこちにアリスを盛り込んでおります。この千疋屋さんのタルトも、うさぎのクッキーが乗っています。色々なものを有機的に結びつけているような状況でございます。

あとこのイベントとは別件で、今のタイミングでお話するのがいいのかわかりませんが、3年に1回の頻度で「世界バラ会議」というものが、ワールドワイドで開催されております。

今回の新型コロナの影響で、開催する予定の国が1年遅れてしまった関係で、日本の開催がそれにつられて1年ずれています。2025年、あと4年後ですが、2025年5月の春シーズンに、広島にある福山市で世界バラ会議が開催予定となっております。

そういった意味では、この八千代をアピールするうえでは非常に、有効な打ち手かなと考えておりますので、この辺りも情報として、皆様の方にお伝えさせていただければと思います。

八千代緑が丘のローズハーツふれあいフェスタで、スタンプラリーを八千代緑が丘駅からスタートで、京成バラ園が終点でやっていて、バラ街道と言われている道の途中にスタンプ台をセットして、京成バラ園のガーデンセンターのお店の中をゴールに、そのスタンプをお持ちになられた方に対して、チューリップの球根をお渡しするというようなこともやりました。実は思った以上の大反響でございまして、八千代のこの近隣の方々がメインになってくると思うのですが、今回の件で、ものすごく周知が図れたのかなと思います。

とにかくやはり、周知をしていくことがまず、第一になってくるのかなと思いついて、そういった意味では手前味噌で恐縮ですが、東葉高速さん、あとは東洋バスさん、京成電鉄、そして、当社という形の4社で組んで、車で来られる方でなく、電車に乗られる方をターゲットにして、京成バラ園、八千代、を知っていただくというような取り組みですとか、北総鉄道さんと一緒に組んで、印西の方を目指してスタンプラリーをやってみるとか、あの手この手で、色々な仕掛けをさせていただいているような状況でございます。

ちょっと長々となりましたが、私の方からもご説明は以上です。

市川会長

はい、ありがとうございました。先ほどの福山市もそうですが、基本方針5「バラを軸とした観光振興への推進」というところで、実は、京成バラ園さん、佐倉の草ぶえの丘さんと、谷津バラ園さんとの連携を含めてですね、福山市で2025年に行うであろう世界バラ会議の時に、東の1つの拠点として、うまくいけば聖地化とかそういったものも考えられるのではないかなと、そういう表現はありませんけれども、そのような意図を持って、ここに落とし込みました。

色々アイデアをいただきましてありがとうございました。農協の直売所の関係で、斉藤委員何かございますか。

斉藤委員

ありがとうございます。JAとしては、旧研修センターがあった跡地に直売所を12月16日にリニューアルオープンします。「よったいよ」という、新しい直売所をつくるということです。もう工事も進んでおりまして、今日足場も取れて外観が大体見えてきています。本店に寄っていただけると、もうこの形になっています。ぜひ、観光の関係でも使っていただけたらということでございます。今までの直売所の2.5倍の売り場ですので、少しでも集客すればいいかなと思っています。

前にも言ったかもしれませんが、八千代のバラということですが、バラも桜も、農家の人が作っている梨も、いちごも増えています。みんなバラ科の植物でございますので、そちらの方でも一緒に盛り上げていただきたいと思います。

以上になります。

市川会長

はい、ありがとうございました。ちなみにこの「よったいよ」というのは、どういう意味があるのでしょうか。

斉藤委員

地域の方言みたいなもので、「寄ってきてください」ということですね。「寄って行ってよ」みたいなことです。地元の方言ですね。

市川会長

わかりました。ありがとうございます。植草委員何か補足とか感想とかあればお願いします。

植草委員

農業が絡んでいるという点では、この「よったいよ」を盛り上げていきたいなと思っていますので、そこから何かつなげられればいいかなと思います。

市川会長

はい、ありがとうございます。非常に綺麗で大きな施設なので、1つの観光拠点になりそうなポテンシャルも秘めているのではないかなと率直に感じました。

それでは他になれば何かございますか。杉山委員お願いします。

杉山委員

はい、観光協会の杉山でございます。先ほど岡本委員さんからもお話があった通り、八千代市と観光協会との連携についてですが、先ほど自己紹介でもお話をしましたが、八千代市観光協会は、正式に観光協会として発足してから2年未満ということで、もともと八千代市に観光があってできた協会ではなく、八千代市さんと懇談会、それから観光計画に沿って、八千代市と観光協会は、車の両輪として市を盛り上げていこうというような形で我々考えております。市川委員のおっしゃる通り、八千代市の観光は、歴史的には古い遺跡ですとかそういったものありますけれども、観光としてはやはり黎明期にあるというふうに捉えておまして、これから行政の方と、車の両輪として、発展をさせていこう、地域振興の1つとして観光を取り上げていただければなと考えております。

そしてバラと桜と、今、彼岸花が、1つの観光資源としてありますけれども、村上緑地公園というところで、旧観光緑化公社の時代に、球根をボランティアの皆様のご協力をいただいて、ずっと植えているのですが、今年も1万5000球の移植をし、今は全部で21万株になり、今年も観光協会とその地域振興財団というところで、共催で実行委員会を立ち上げて、祭りとして取り上げようと思ったのですが、新型コロナの影響で、祭りとしては行わずに通常の鑑賞会として、来られたお客様は自由にご覧くださいということで、9月18日から25日まで、実行委員会で本部テントを設けました。ご来場の皆様の人数の把握ですとか、駐車場の整備、車で来られる方が多いので、去年通常の鑑賞会をやったら、村上団地一帯は、交通渋滞で非常にご迷惑をおかけしたということで、今年は八千代市の公園緑地課にご協力いただいて、村上緑地公園の芝生広場を、駐車場としてお借りしまして、150台ぐらい置けるようになりまして、我々も交通整理にあたりましたが、大きな交通障害は起きなかったです。

でも1週間の間に、我々がカウントしただけでも、約1万3000名を超える鑑賞者の方がいらっしゃいましたので、来年度に向けて、祭りとしてできないかということで、実行委員会を継続してやっていこうと考えております。

まだまだ観光資源としては、成熟していませんが、バラと春の千本桜、それから秋の彼岸花といった四季折々の花の事業を育てていって、八千代市の観光振興にお手伝いできればいいかなと思っています。以上でございます。

市川会長

はい、ありがとうございます。私も昨年見させていただきました。ツーリズムの世界では、埼玉県の中着田ですね、あれが大体数百万本というふうに言われていて、あそこは川べりにあって、赤い海みたいな感じで非日常的な素晴らしいフラワーツーリズムですが、ただ私は村上緑地公園の彼岸花は、通常は赤ですけども、白とかピンクとか黄色もありましたかね、非常にそれが新鮮で、多分彼岸花の印象を変えられるポテンシャルもありますし、中の遊歩道のところが、小さな丘が結構あるので、ちょっと角を曲がるとまた違う風景が見えるような、なかなか複雑な地形で、私は非常に面白いと思いますね。

ただ、その駐車場の確保は素晴らしいと思うのですが、今後は、お金が落ちるシステムをどうやって構築するかというところだと思うので、キッチンカーを並べるとか、何らかのお金が落ちる仕組みが少し課題かなと思っています。

素晴らしい観光資源と思っており、さらにもっと増えると思いますので、ぜひ頑張ってくださいなと思います。

ありがとうございます。それではよろしいでしょうか。どうぞ岡本さん。

岡本委員

はい、すみません。私今日、かなり色々な意見を言いましたが、決して批判ではなくて、その中でできることと、若干見た目の心配という意味で、言っているということをおきたいなっていうのが1つあります。

あと、先ほどのバラのまちについて、皆様がおっしゃっていたように、惜しいなということが1個あって、もしできたら特に観光協会さんをお願いしたいなと思うのは、福山市が「ばらのまち」と知られているのは、福山通運さんが「ばらのまち」というシールを貼っているからです。

つまり、キャッチフレーズのシールはすごく有効で、もしこういうことができたらと思ったので、せっかくいいキャッチフレーズができたのだから「バラと桜の町八千代」というのを、小久保製氷さんとか、藤川商運さんとか、移動する近隣のトラックの方々に貼ってもらうとか。

今、八千代市さんの協力で、自分たちの団体が、やっちバスを走らせて子どもたちに喜んでもらっていますが、そういった宣伝効果はあるなと思ったので、もしかしたら、観光協会さんとかにやってもらえれば、少なからず周辺の流入人口が増えるし、「どこだろう」とか「何だろう」とか思ってもらえる。

私は京成バラ園さんがうまくいっている理由としては、八千代緑が丘駅の上がバラ型になってから、話題にされる方が非常に増えたと思うので、お金はかかってしまいましたが、なるべく抑えて、動く広告塔、あとは、絵になる宣伝というものをやっていただくと価値はあるのではないかなと思っています。

八千代市のライバルで言うと、例えば水球であれば新潟にあります。あそこもブルボンの傘下で宣伝がされています。八千代の方は、強いスポーツを発信していないので、もったいないなと思うので、福山通運さんがあれだけ走っている「ばらのまち福山」というのは、京成バラ園さんにも頑張ってもらって、「バラと桜のまち八千代市」みたいな形でステッカーを貼っていただいて、「え、どこ？」と皆様に思ってもらえれば。そしたら絶対に増えると思うので、そこから市民意識、周辺の意識を変えていただいて、「スポーツまち船橋」と皆様が思うように、八千代市だったらこういう形ってやってみたらいいのではないかなと思います。あまりお金もかからなくて、動く広告塔になっていただけのような、協力的な中小企業さんもたくさんありますから、ぜひやっていただけたらなと思っています。

市川会長

はい、ありがとうございました。他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、次回開催につきまして事務局の方からございますか。

事務局（長谷川）

はい。事務局の方から次回の会議につきましてご説明いたします。次回の懇談会につきましては、年明けの1月21日金曜日を予定しております。開催が決まり次第、また改めて開催通知をお送りいたします。連絡事項は以上となります。

市川会長

ありがとうございました。それでは、最後に事務局より一言お願いいたします。

事務局（春田）

本日は、大変貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。皆様からいただきましたご意見等を参考に、今後の計画策定を進めていきたいと思っております。事務局からは以上となります。

市川会長

はい、それでは本日の議題はすべて終了いたしました。

これで、令和3年度第2回八千代市観光振興懇談会を閉会させていただきたいと思っております。本日は忌憚ないご意見、たくさん積極なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。これで終了します。ありがとうございました。

— 閉 会 —